

愛知のいちご

1 愛知のいちご出荷量は全国第5位

平成29年産の出荷量は9,410tで全国第5位、作付面積は266haで全国第6位、平成28年産の産出額は88億円で全国8位となっています。

表1 いちごの全国順位（作付面積・出荷量：29年産、産出額：28年産）

全国順位	出荷量 (t)		作付面積 (ha)		産出額 (億円)	
1位	栃木県	23,600	栃木県	554	栃木県	285
2位	福岡県	16,900	福岡県	455	福岡県	196
3位	熊本県	10,300	熊本県	316	静岡県	109
4位	静岡県	9,950	静岡県	303	長崎県	103
5位	愛知県	9,410 (6.3%)	長崎県	268	熊本県	102
6位	長崎県	9,340	愛知県	266 (5.0%)	佐賀県	97
7位	茨城県	8,410	茨城県	243	茨城県	90
8位	佐賀県	7,950	千葉県	222	愛知県	88 (5.0%)
	全国	150,200	全国	5,280	全国	1,749

注：愛知県の欄の（ ）内は全国シェア

（出典：農林水産省平成29年産野菜生産出荷統計、平成28年産農業所得統計）

2 「ゆめのか」の特徴および県内での栽培状況

「ゆめのか」は、①ジューシーで、すっきりした甘さがある。②果実が大きくて、よく揃う。③果実が傷みにくく、流通にも適している。④明るい紅色で光沢がある。⑤病気に比較的強い。という特徴があります。

県内では、海部地域を中心に約23haで栽培されており、栽培品種の約20%を占めています（JAあいち経済連調べ）。

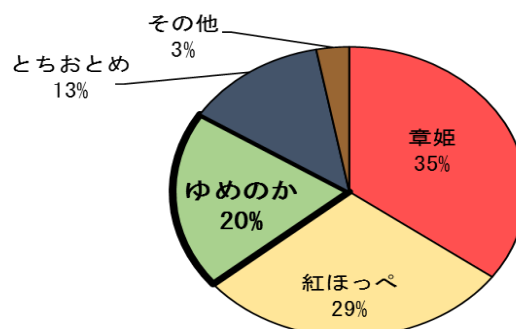
表2 県内の「ゆめのか」栽培面積

	栽培面積 (ha)	割合 (%)
尾張	16.6	72%
知多	0.3	1%
西三河	1.0	4%
東三河	5.2	23%
合計	23.1	100%

（出典：JAあいち経済連

平成30年度秋冬作主要品目別出荷計画）

図1 県内栽培品種の構成(30年産計画)



（出典：JAあいち経済連

平成30年度秋冬作主要品目別出荷計画）

3 平成30年産の県内いちごの生産状況

今年のいちごは、育苗期には記録的な猛暑、9月には長雨・2つの台風に襲われ、定植時期に被害に見舞われ栽培管理に苦労しましたが、その後は安定した天候で生育は回復しました。

出荷は11月上旬から始まり、その後も比較的温暖な天候が続いたことから生育は良好で、甘みの充実した品質の良いものが県内中心に出荷されています。